

## 起動

コマンドプロンプトで

```
diskpart
```

で起動。

Windows のインストール中で起動する場合はインストーラの画面で

```
shift + F10
```

でコマンドプロンプトが起動する。

## 使い方

### ヘルプ

help でコマンドの説明が表示される。また help に続けてコマンドを指定するとそのコマンドのオプションなどが表示される。

```
help  
help list
```

### 基本的な操作

操作対象は select でディスクやパーティションを指定して操作する。

例えばパーティションをフォーマットする場合は

```
select disk 0  
select partition 1  
format quick fs=ntfs
```

選択しているディスク、パーティションは、list コマンドで \* マークが付いている。

余計なパーティションを作成せずに Windows をインストールする場合 (UEFI)

MSR、回復パーティションを作成せずに Windows をインストールする。

EFI 領域は必要なのでパーティションは 2 つにする。

clean する前に選択しているディスクをしっかりと確認すること。

```
diskpart  
list disk  
select disk 0  
clean  
convert gpt  
create partition efi size=100  
create partition primary  
list partition
```

余計なパーティションを作成せずに Windows をインストールする場合 (BIOS)

Windows Vista 以降の OS (Windows Server 2008 含む) では、既定で OS 領域とは別に 128MB の「システムで予約済み」パーティションが作成されます。

これは、Microsoft 予約パーティション (MSR) と言われるもので、EFI のブートロード情報や暗号

化する際の BitLocker 用の領域として使用されます。

MSR や回復パーティションを作成せずに Windows をインストールするにはパーティションを 1 つだけにしてインストールします。

clean する前に選択しているディスクをしっかりと確認すること。

```
diskpart
select disk 0
clean
create partition primary
format partition
```

## 回復パーティションを作成する

回復パーティションは ID が「de94bba4-06d1-4d40-a16a-bfd50179d6ac」と決まっている。

```
create partition primary size=300
set id="de94bba4-06d1-4d40-a16a-bfd50179d6ac"
```

## ボリュームサイズを拡張する

<http://www.atmarkit.co.jp/fwin2k/win2ktips/577diskext/diskext.html>

OS が入っているシステムディスクは拡張できない。

コマンドプロンプトで

```
diskpart
list volume
select volume 番号
extend
```